

# 西建協だより

166号

2008年  
5月

# 西

新任のご挨拶

西多摩建設事務所 所長 池田 繁 敏

西多摩建設業協同組合の皆様、はじめまして。このたびの異動（平成二〇年四月一日付）により、西多摩建設事務所長に就任いたしました池田繁敏と申します。

私は、かつて二年三月ほど工事第二課長で就任してございまして、十年ぶりの西多摩建設事務所勤務となります。その当時に比べて、西建協の皆様のご努力により、道路や河川整備がずいぶん進んだなど痛感いたしました。さて、西多摩地域は東京都区部にも匹敵する広大なエリア（五七三平方キロメートル）

つぎに、西多摩地域の振興、発展に資するため、西建協の皆様方と連携しながら、当所の平成二〇年度事業（予算約一五三億円、対前年度九%増）の円滑な事業推進と維持管理の強化などに努めてまいりたいと思っております。

今後とも、西建協の皆様と意見や情報交換などを通して、相互の連携をより深め、西多摩地域の発展のため、頑張りたいと思っておりますので、皆様のご協力方よろしくお願いいたします。



5月2日開通式典が行なわれた。（あきる野市草花地内）一般都道あきる野羽村線（第250号）

## 平成二十年度基本方針

理事長 佐久間 一三

現在の日本は、国会の衆参ねじれ現象による政府運営の無策状態が続いているといえる。

道路特定財源の取り扱いによる、建設関係の予算は、地方により困窮の度合いを増しており、今後の公共工事の発注に対し大きな影響を及ぼすものと考えられる。公共工事削減の風潮の中で、建設業に対する仕事としての魅力は薄れてゆき、地場の建設業を承継して、次代を担おうとする若者、建設技術者が減少していることは明らかであり、今後の建設業存続が危ぶまれるさざしが見えている。現在稼働中の建設業者に後継者がいるかどうか重大な危機感を持たざるを得ない。

本来、地域社会の道路、下水、水道、建物等建設により社会基盤整備を担って

いる地場の建設業者が、地域社会から期待され、地域住民より期待のまなざしを持つてむかひいれられるべき存在であると考えていた。建設業者としての誇りと自信を持つて仕事してきたことが、マスコミや、建設工事の工事費削減を進める価格至上主義の発注者により否定されることは誠に残念である。

近年の入札制度の変更、経審の変更に、総合評価方式等が徐々に導入されるようになってくると、建設業者の抱える技術者の数や、技術力、過去の実績、財務内容の良し悪しが問われることとなる。我々地場の中小建設業者にとって、受注に不利に働くことは間違いないと思われ。それらに対し、組合員の会社は

どのように改善して行くのか、組合員全体

の考えをまとめ、組合として全体に対応していかなければならない。

毎年の防災の日、阪神大震災の日、道路啓開作の協定に基づく道路巡回訓練を全組合員の参加をもつておこなっている。広い西多摩地域の全域をわずか2時間ほどのうちに巡回し点検を終了している。地場に生活している建設業者として、地域の実情を知り、いち早い災害からの復旧を担うものと考えていることを、地域社会の皆様にご認めていただき、地元の建設業者として、社会に貢献していることを、認めていただければと願うものである。

以上のことをふまえて、より地域密着型の建設業界として、新しい人材を育成し、新しい考え方を生み出す西多摩建設業協同組合となるように頑張りたいと思えます。

- 一．西多摩地域社会に対する組合としての社会貢献
- 二．新たな入札制度への対応

### 4月事業報告

- 4日 第3回あきる野地区委員会
- 11日 広報委員会165号編集発行
- 15日 総務委員会
- 21日 理事会
- 30日 若手経営者の会 役員会

### 5月事業計画

- 9日 広報委員会166号編集発行
- 12日 総務委員会
- 13日 事業委員会
- 14日 理事会
- 14日 第42回通常総会 午後3時  
建設会館 3階会議室
- 21日 建災防西多摩分会 理事会
- 22日 若手経営者の会定期総会午後4時

### ◇お知らせ◇

平成20年度全国安全週間  
準備期間 6月1日～31日  
本週間 7月1日～7日  
スローガン  
「トップが率先 みんなが実行  
つみ取ろう職場の危険」

本週を契機に、それぞれの職場において、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、安全活動の着実な実行をお願いいたします。

\*安全週間説明会の開催  
日時 6月13日（金）  
午後2時～  
会場 羽村市スポーツセンター 会議室  
建災防西多摩分会  
青梅労働基準監督署

- 三．組合員の技術力の向上
- 四．新規加入組合員の確保
- 五．誇りの持てる建設業の実現、後継者の育成
- 六．工事故の防止
- 七．組合員の受注の確保
- 八．暴力団等排除協議会の活動充実

賛助会員PRコーナ No.4

株式会社
フォルモントホールディングス

新緑の候、ますますご清栄のこととお喜びもうしあげます。
安心の警備・確かな保障を合言葉にこれからも西多摩建設業協同組合のために社員、隊員一同頑張っております。
こんごともよろしくお願いたします。



安心の警備・確かな保障

株式会社
フォルモントホールディングス

〒198-0024 東京都青梅市新町1-5-5
TEL. 0428-32-8777 (代)
FAX. 0428-33-6277

◎賛助会員のご案内 (五月一日付加入)

会社名 (株)昭和石材工業所 青梅営業所
☎0428-31-9400

\*現在賛助会員加入申込(賛助会員規約配布)については、組合事務局までご連絡下さい。
ご説明申し上げますのでご検討宜しくお願い申し上げます。

◇新役員名簿◇

- 理事 佐久間一三 (佐久間建設(株))
副理事長 酒井政修 (株)酒井組
井上忠男 (株)多摩組
細沼順人 (成友興業(株))
理事 小池正明 (小池建設(株))
加藤隆 (加藤建設(株))
鈴木誠 (鈴木土建(株))
岩浪岳史 (岩浪建設(株))
榎森厚志 (株)榎木工業
古屋英司 (小河内建設(株))
戸高弘喜 (戸高建設(株))
上坂健一 (株)上坂重機開発
武田雅由 (株)武田組
石川久雄 (事務局長)
監事 滝島克 (朝日建設(株))
土屋大造 (有)土屋土建

◎和田橋

和田町と日向和田の間にかけられた橋。昔は両方がひとつの村であり、現橋の以前は下村道が通じ、長さ12間幅6尺の丸太橋などが架けられていた。古くは馬引沢峠越えの秩父鎌倉道でもあった。新設計の鋼管アーチ橋の流行は昭和40年代で、昭和50年以降架設数は減った。名称の発祥は、地形が張り出す「輪田」によるか、天正元年

(1573)に19代も続く和田氏の由縁によるか、何れかであろう。欄干に梅と鶯の彫物がある。

橋種：道路橋
橋長=132.4m
幅員=車道6.2m
歩道2.7m×2
構造：アーチ橋

上路：直 鋼管 ヒンジ
下部：橋台2基
施工年月：昭和40年3月
水面まで16m



\*次回は万年橋・柳淵橋を紹介します

◇特集◇ 多摩川に掛かる橋 第17回

◎神代橋

古くからこの地には橋があったとされ、記録にも「万年橋」と記されている。昭和9年・17年に架橋があったが、梅郷の観光発展に合わせ、昭和44年に新アーチ橋が造られた。欄干の梅木模様版は当時の斬新な企画でした。梅の公園・吉川英治記念館・ハイキングコースなどに訪れる人が多い。特に3月は梅まつりで賑わう。欄干に梅の木をあしらった彫物がある。

橋種：道路橋 橋長=132.4m
幅員=車道6.2m
歩道2.7m×2
構造：アーチ橋
上路：直 角 鋼ヒンジ
下部：橋台2基
施工年月：昭和44年3月
水面まで21m



《 4月21日 理事会報告》

- ①報告事項
・三多摩建設業連合会 総会日程等
・委員会報告
・その他
②審議事項
・賛助会員1社承認の件
・定款変更・役員改選の件
・会計監査報告の件
・19年度決算関係処理承認の件
・総会懇親会実施の件

